

経営理念

創造 貢献

カシオの経営モットーは「創造 貢献」です。
それまでにない斬新な働きをもった製品を提供することで、
社会貢献を実現するという意味です。
新しい働きをもった製品は、
多くの人の生活を助け、社会を進歩させます。
あるいは多くの人に楽しみをもたらし、
新しい文化を生み出す源となります。
新しい製品が普及すれば、そこには新しい市場が生まれ、
さまざまな周辺産業が育ちます。
カシオはこのような、製品やサービスの提供を通じて、
さまざまな側面から社会に貢献したいと考えています。

カシオの歴史

1957

樫尾四兄弟が世界初の小型純電気式計算機「14-A」を商品化、カシオ計算機株式会社を設立



1965

トランジスタを採用した電子式卓上計算機「001」発売



1966

電子式卓上計算機を海外に初輸出

1967

スイスに「ヨーロッパ事務所」を設置

1970

米国に販売会社「カシオインク」を設立
東京証券取引所第二部に株式上場

1972

東京証券取引所第一部に指定替え
世界初のパーソナル電卓「カシオミニ」発売



1974

デジタル時計「カシオトロン」発売



1978

台湾に生産会社「カシオ台湾」を設立

1980

電子楽器「カシオトーン」発売



1981

電子辞書「TR-2000」発売



1983

耐衝撃腕時計「G-SHOCK」発売



1985

中国・北京に事務所を開設

1989

ユーザープログラム不要の事務用情報処理装置「ADPS R1」発売

1995

液晶モニター付きデジタルカメラ「QV-10」発売



電波ウォッチ「FKT-100」発売

2000

防水・耐衝撃機能を備えた携帯電話「C303 CA」がIDO/DDI-セルラーグループより発売



2002

世界最薄(当時)のウェアラブルカードカメラ「EXILIM」発売



2003

「カシオ創造憲章」を制定
データプロジェクター市場に参入

2004

フルメタルケースのソーラー電波ウォッチ「OCEANUS」発売

2006

電卓累計販売台数が10億台に到達

2008

高速連写デジタルカメラ「EX-F1」発売



2009

「G-SHOCK」の累計販売台数が5,000万個に到達

2011

ネットワークサービス「イメージングスクエア」を開設

CASIO CORPORATE REPORT 2011

CONTENTS

- 01 経営理念／カシオの歴史
- 03 TOP COMMITMENT
- 05 製品・サービス紹介
- 09 特集1：デジタルアートで無限の楽しさを生み出す
- 11 特集2：地域と文化に根ざす製品を提供
- 13 世界で活動するカシオグループ
- 15 価値を生み出す開発力
- 17 スピーディで無駄のないモノづくり
- 19 共感を広げるコミュニケーション
- 21 グループで取り組む環境経営
- 23 企業体質を強化するITとマネジメント
- 25 従業員とともに歩むカシオ
- 27 カシオグループの社会貢献
- 29 売上高と利益
- 30 会社概要

CSR活動については、サステナビリティレポートに詳しく紹介していますので、カシオホームページをご覧ください。